

# 制服に関する座談会 7/14 (水) 13:30～

@英知館 (北舎) 1階 生物講義室

菅公学生服株式会社 ■■■さん(岐阜) ご来校 / ■■■さん(名古屋) オンライン参加

(1) ■■■先生から講師の紹介

(2) ■■■さんから事前伝達した質問内容を中心とした説明 (3)～(7)

(3) 制服の歴史

江戸末期	軍服から洋装化開始(和服より機能性に優れる)
1879	現在の学習院大学で日本初の学校制服(男子のみ)
40年後	女子制服誕生
戦時中	制服が国民服(節約のため)
戦後	化学繊維普及により、丈夫
オリンピック	個人消費増加→個性化 (体操服も変化開始)
1975年	変形学生服発生、ブレザー制服誕生制服自由化運動も開始
1989年	学校数増加により、学校のオリジナリティ表現のための制服 →色・デザイン多様化
	スラックス型誕生(あまり普及せず)
2002年頃	制服の着崩し、ルーズソックス、スカート切るなど
近年	軽くて動きやすい、洗濯できる、抗菌付き

(4) 制服の定義

制服とは・・・「不易流行」のもの、愛校心育成、各自の役割の明確化  
求められること・・・経済性 審美性 品位性 社会性 安全性 人格性 平等性 連帯性 耐久性など  
ど

(5) 制服がどのようにつくられるか

- ① メーカー：最新情報提供・学校：制服変更を検討
- ② 学校：検討委員会設置
- ③ 学校：メーカーに変更依頼
- ④ メーカー：ニーズ調査、サンプル、素材、デザイン、コンセプト立案
- ⑤ メーカー：プレゼンテーション

(6) 求められているニーズ

(ソース元：インターネット調査、過去5年分ほど)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
生徒のニーズ	清潔性	寒暖対策	デザイン	着心地	成長・サイズ	安心
保護者のニーズ	清潔性	寒暖対策	成長・サイズ	着心地	デザイン	安心
学校のニーズ	デザイン	清潔性	着こなし	着心地	耐久性	経済性
総合ニーズ (生徒・学校)	デザイン	清潔性	着心地	寒暖対策	—	—

※「生徒のニーズ」は高校2年生、3年生

※「学校のニーズ」公立・私立混合のデータ

#### (7) 全国の動向

「自由服→制服」事例は多い 四日市西高校、大阪府立長尾高校など

理由：風紀の著しい乱れ、生徒を指導するとストレスがたまるので着崩さないように、制服で矯正したい、外部からの評価が下がる など

「制服→自由服」事例は少ない

「制服→標準服」事例は多い

(※ここでの標準服とは、服装規定により、毎日着ていかなければならない服ではなく、着用してもよい服)

#### (8) 制服を作るうえで、大切にしていること (■■■■さんから)

- ・営業担当として、学校や生徒の意見をできるだけ集める
- ・学校がどういう学校なのか知る
- ・意見を引き出しつつ、まとめる(妥協点も出てくる)

#### (9) 制服の販売価格について (■■■■さんから)

- ・制服の生地、デザインにより変化
- ・大量製品(単なるつめ入り学生服)は安い
- ・一方、学校オリジナルのデザインなどの制服は高い

#### (10) 今後、ぜひ考えてほしいこと (■■■■さんから)

- ・制服をなくしたとしたら、制服ではなく、何をもって一体感を出すのか
- ・「標準服=制服ではない」ことに注意してほしい
- ・自由化しても、規定は必要なのでは？(対外的な面として、また風紀維持のため)

以上